

シリーズ『みんなの力で命と暮らしを守る  
～防災計画が目指すもの』

# いざというとき、あなたを守る暮らしの必需品

今回は、非常時や災害時に迅速かつ的確な情報を、市民の皆さんへ伝達する防災行政無線について説明します。

《問合せ》防災安全課防災係



## 豊岡市防災行政無線

### 「戸別受信機」

#### 防災行政無線設置の目的

防災行政無線は、平常時のさまざまな行政情報はもちろんのこと、災害時には「避難勧告・指示」といった市民の皆さんの命に関わる重大な情報をいち早く、一斉かつ緊急に伝達することができるなど、非常に重要な役割を果たすものです。

このため、市では、安全・安心な市民生活を守ることを目的に、防災行政無線装置を整備し、市民の皆さんへ、防災行政無線の戸別受信機を各家庭1戸につき1台無料で貸出しています。なお、竹野・但東地域は、同様の目的で有線放送を設置しています。



豊岡・城崎地域に設置されている防災行政無線「戸別受信機」

#### 防災行政無線の貸与条件

##### （竹野・但東地域を除く）

防災行政無線の戸別受信機は、市内に在住している方に対し、無料で貸出しています。まれに電波の受信状況によっては、屋外へのアンテナ設置が必要となる場合がありますが、その場合も市で設置工事を行います。

なお、複数の台数設置を希望される場合は、2台目から実費購入（屋外アンテナは別途）となります。また、事業所でも設置は可能ですが、1台目から実費での購入をお願いしています。

住民基本台帳上は2世帯となっており、仮に生計を別にしていても、同一住居であれば1家庭とみなし、1台とします。

同一敷地内であっても、住居および生計を別にしていない場合は、それぞれを1つの家庭とみなし、各家庭に設置を行います。

#### 定時放送

毎週火曜日と金曜日（1日2回）の午前と午後の7時30分から最新の市政情報を市民の皆さんに提供しています。

#### 緊急時放送

災害発生時など緊急の場合は、状況に応じて警報の内容、雨量や水位の状況、避難に関する情報等を、随時、放送します。特に避難勧告等、重要な内容は、最大音量で放送し、屋外拡声装置からも放送する場合があります。この他に、火災の発生や重大な事故等の発生、行方不明者の捜索など緊急を要する場合にも放送します。



市役所防災通信センターにある屋外拡声装置

#### 転入、転出および市内転居される方へ

本市への転入、市外への転出および市内転居の手続きの際には、防災安全課または各総合支所総務課まで申し出てください。なお、竹野・但東地域は、有線放送での対応となりますので、竹野および但東の総合支所総務課まで問い合わせください。

#### 竹野・但東地域への防災行政無線の整備

竹野・但東地域は、現在、有線放送であるため、今年度から防災行政無線の整備を行います。両地域に順次、戸別受信機を設置し、竹野地域は平成20年4月、但東地域は平成20年7月には放送を開始する予定にしています。

#### 防災行政無線を使用するにあたってのお願い

防災行政無線の「戸別受信機」設置後は、紛失等がないように各家庭で管理をお願いします。また、次の費用は、皆さんの個人負担になります。

- ・受信機の電気使用料
- ・受信機の乾電池代
- ・故意または過失による破損の修理代
- ・建物の増改築等によるアンテナの移設費用

停電時に乾電池が必要なため、普段から入れておいてください。なお、電池は定期的に交換していかないと、まれに液漏れ等が発生して故障の原因となり、修理代が個人負担になる場合がありますので、1年に1回は交換してください。

# 環境あねこれ ⑥

コープこうべとレジ袋削減に向けての協定を締結



環境に関する問題について、市の取組みなどをシリーズでお知らせします。 《問合せ》生活環境課生活環境係

## レジ袋の消費量

皆さん、国内で消費されているレジ袋の枚数をこ存じでしょうか。年間約305億枚も消費されているそうです。

1枚のレジ袋を作るのに必要な原油は、さかずき1杯程度ですが、これを305億枚使用するとドラム缶279万本分の原油に相当します。わずか1回使用するだけのレジ袋に、私たちは莫大な量の資源を浪費しています。

## 市の取組み

市は、平成8年から市内の環境衛生団体と一緒に、レジ袋の削減に向け、大型小売店の店頭啓発など、「マイバッグ運動」に取り組みしてきました。また、平成18年3月に策定した「一般廃棄物処理基本計画」では、容器包装ごみの発生抑制を重要課題として位置づけています。しかし、

なかなか「マイバッグ運動」は広がりを見せていません。

## レジ袋削減に向けた協定

有料化などレジ袋を減らす取組みは、事業者にとっても重要な課題ですが、無料でレジ袋を配布している店が近くであれば、客が流出する恐れがある」と多くの事業者が不安を抱き、実施に踏み切ることができません。そこで、市は、レジ袋の削減など発生抑制を推進している事業者と協力関係を築き、消費者に対して理解を求めると共に、他の事業者へも働きかけて、「マイバッグ運動」を市内全域に広げていきたいと考えています。その第1弾として、5月25日に生活協同組合コープこうべとレジ袋削減に向けての協定を締結しました。

## コープこうべの取組み

コープこうべは、平成7年

6月からレジ袋を1枚5円で任意に徴収することにより、マイバッグの持参率を高めてきました。しかし、取組みを始めてから10年が経過し、マイバッグの持参率も減少傾向にあったことから、マイバッグの持参率を90%にすることを目標として、6月1日から県内の全域で有料化を実施しています。

## マイバッグ運動

マイバッグ運動は、レジ袋の削減だけでなく、私たちの意識にも変化をもたらし、他のごみの発生抑制にもつながる重要な取組みです。皆さん買い物などに出かけるときは、マイバッグを持参しましょう。また、常にマイバッグを2個以上用意しておくとう便利です。



協定書を交わすコープこうべ第6地区本部長の松村晋策さん(写真右)と中貝市長。中央は但馬北コープ委員会代表の田結莊喜美子さん

# 交通安全・防犯かわら版

このコーナーでは、交通安全と防犯に関する情報をお知らせしています。 《問合せ》防災安全課消防安全係

## 家庭でできる防犯教育

子どもを犯罪から守りましょう！

最近、市内で児童を対象とした声かけ事案(不審な人物から声をかけられること)や露出事件が連続して発生しています。子どもが犯罪に遭わないためには、市や警察、地域の防犯活動はもちろんですが、家庭での防犯教育がとても大事です。では、家庭で何に気を付け、何を教えればよいのでしょうか。

子どもの行動は日ごろから常に把握しておくこと！

子どもが被害に遭うのは、一人きりか少数の子どものみだけでいる時が多い傾向があります。家庭でも日ごろから子どもの行動を把握しておき、このような状況にならないように十分注意してください。

子どもと常にコミュニケーションをとってください！  
不審者が子どもを誘う場合、子どもの好きなもの、いわば

「弱点」を突いてきます。どんなことを言われても絶対に知らない人にはついて行かないように日ごろからよく言い聞かせておきましょう。

また、万一、子どもが被害に遭った場合でも、親に被害があったことを言うとならぬのではなかと恐れ、なかなか言わない場合があります。そのため、常に子どもの様子をよく見ておき、普段と異なるときは優しく声をかけてあげてください。

**防犯標語「いかのおすし」**  
犯罪に遭わないための約束事「いかのおすし」を覚えさせてください。

- ・ いか：知らない人について
- ・ す：すぐ逃げる
- ・ し：何かあったらすぐ知らせる
- ・ お：他人の車にのらない
- ・ お：おおごえをだす

